



スタート前緊張の瞬間



1月8日(日)八重瀬町役場前をスタート、ゴールに新春走り始め大会が行われました。(主催/旧具志頭村体育協会) 旧具志頭村の体協行事はこれが最後

となり、参加者は幼稚園児から壮年の部まで134名、参加者全員が自分のペースで最後まで走り抜きました!

参加者全員完走!! 新春走り初め大会



マラソンを終え、表彰式までの待ち時間には、参加した子どもたち皆で臼を囲み、15キロの餅をつきました。母親たちが砂糖じょうゆと、きなこで味付けされたつきたての餅はとてもおいしく、あっという間に完食されました!

ぜんぶ食べちゃった!! もちつき大会



と~っても
おいしいよ!





演奏と息のあった舞を披露する7名の歌手と太鼓、踊り手



見事な舞に拍手する町議員や職員ら約50名

“かぎやで風”を踊り

議場開き

八重瀬町議会（議長／伊吉弘）初の臨時議会が1月18日（木）に開会し、その議場開きが本会議場で行われました。町議会議員の奏でる三線と太鼓に合わせて職員の「かぎやで風」が披露されると新しい町の最初の議会が開会されるに縁起が良いと議員はじめ執行部も喜んでいました。

文化講演会

もっと知ろう「石敢當」

日常、人家の門口や町中の道の突き当たりなどでよく目にする石敢當（いしがんとう（沖縄）・せきかんとう（本土）や漢和辞典・シーガンタン（中国語））についての文化講演会が平成18年1月18日、八重瀬町中央公民館にて行われました。講師をしていただいた小玉正任先生（財団法人 沖縄協会会長）は筑波大学で石敢當の研究を行い文学博士号を取得。その後も国内各地をまわり現在29都道府県で確認、さらに実態調査や研究をつづけています。講演会で小玉先生は、「沖縄にはきわめて多くの石敢當があり、中国伝来の魔除け石ということまでは多くの人が知っている。今回は、もう少し深くはいり、石敢當の起源や由来、現状等について説明していきたいと思う」と会場に集まった多くの町民等と石敢當についての理解を深めました。





新チームで最高のスタート！ 世名城ジャイアンツ 3年ぶり3度目の優勝

南部地区少年野球交流大会(第1回ラムズ杯・第7回南部広域市町村圏杯)最終日の1月15日(日)に行われ、世名城ジャイアンツが3年ぶり3度目の優勝を手に入れました！

世名城ジャイアンツ(主将/古波津翔太は、7月に和歌山県で行われる「高野山学童軟式野球大会」へ県代表として派遣されることになっています。

1月22日に東風平農村環境改善センターにおいて、先に行われた県大会の優勝と、今大会の優勝の祝賀会が約200名の参加のもと盛大に行われました。



世名城Gの小さなエース
(上原龍太くん)



次々と得点を重ねてハイタッチ！！



1/6 改称式典除幕式の様子



沖縄最前線に新分屯地 「八重瀬分屯地」現る！

平成18年1月1日、沖縄の最前線に新分屯地「八重瀬分屯地」が開設されました。従来から旧東風平町字富盛にあった第6高射特科群本部等が所在する「与座分屯地」が、同年1月1日、東風平町と具志頭村の合併により両町村に跨る琉球時代から造詣の深い八重瀬岳当分屯地に所在する地名を取って「八重瀬町」が誕生するに伴い、地元自治体等の要請、協力会、所在隊員及び歴代群長等の承諾を得て名称変更の申請を行い、防衛庁長官から「八重瀬分屯地」の改称が許可されました。

当分屯地は昭和48年4月開設以来、約

32年間、沖縄防空の要の「与座分屯地」として呼ばれてきましたが、これからは、所在する地元の名を取って「八重瀬分屯地」として新たな1頁を開き、地域社会に貢献できるよう、その歴史を刻んでいくこととなります。

(第6高射特科群本部第1科)